

＜日商簿記1級工業簿記ミニテスト14＞連産品

＜問題＞

当社では、連産品であるX・Y製品を生産している。各製品は分離点以後に追加加工を行いAX・AY製品として販売している。次の資料に基づいて以下の問いに答えなさい。なお、分離点と完成品における各製品の物量に変化はないものとする。

＜問1＞

①物量基準での連結原価配賦額を答えなさい

②見積正味実現可能価額（NRV）を基準として連結原価を各製品に配賦し、各製品の連結原価配賦額、完成品総合原価および完成品単位原価を計算しなさい。

③修正NRV法による連結原価配賦額を計算しなさい。なお、売上総利益率（%）は端数を維持したまま計算する事（なお、個別加工費は実際額を使用すること）。

＜資料（問1、問2共通）＞

(1)各製品の生産量と単位当たり市場価格

	生産量（単位：kg）	市場価格（単価）
製品AX	3,000	@600
製品AY	2,000	@300

(2)連結原価と分離後の見積・実際個別加工費

連結原価
1,105,000

	見積個別加工費	実際個別加工費
製品AX	@50円	@55円
製品AY	@20円	@20円

＜答案＞

＜問1＞①

X製品	663,000
Y製品	442,000

配賦は見積もり
完成品原価は実際

＜問1＞②

	連結原価配賦額	完成品総合原価	完成品単位原価
AX製品	825,000	990,000	@330
AY製品	280,000	320,000	@160

＜問2＞

X製品	817,500
Y製品	287,500

合計売上総利益率と各製品の売上
総利益率を同じにして逆算